



学校だより

三年先の稽古

発行：校長 益子 朗

「熊」にご注意!

今朝、校長が登校指導の後、校地の周りを巡視したところ、校庭南側(保育園の北側)の私道に、熊と鹿と思われる動物の糞がありました。早速写真を撮って確認し、大信庁舎に連絡をしたところ、すぐに駆除隊の方が現地調査に来てくださいました。

そのお話によると、

- ①糞は10日以上前のものである。
- ②熊は親1頭、子ども2頭である。
- ③丹波楯山を住み家としている親子熊である。
- ④この親子は先日來増見方面に現れ、柿などを食べていた。
- ⑤現在はすでに丹波楯山の山中に帰って冬眠に入る頃だと思われる。



とのことです。

校歌(一)

丹波楯山 隈戸川
緑溢れる ふるさとに
育つ喜びかみしめて
学ぶ大信 大信中学 われら

駆除隊の皆さんは専門家です。熊の足跡や糞を追跡調査して、熊のいろいろな情報をお持ちです。すでにこの親子熊は、足跡が丹波楯山までついで、おそろさ、冬眠の時期なので、おそろくもう里には下りては来ないだろうとのことです。念のため数日間、中学校の周囲をパトロールしてください。

通常の学校生活を過ごしている分には心配はいりませんが、一人たりしては避けたり、山林に入ったりしてはいけません。山林に入ると、トラップを起すことが近年急増したように思います。先日は他県で熊がスパーマーケツトでも一日過ぎたというニュースもありました。何でも、過疎によつて人間が少なくなった地域に動物が進出するようになったり、遭わぬよう、皆さんも十分にご注意ください。

校長のつぶやき

正義とはなにか、なにが正しいのか!

今週、生徒会でNHK海外助合いへの募金活動を行っています。ご苦労さまでした。また生徒の皆さん、ご協力ありがとうございます。世界中には病气や貧困、紛争、災害などで、食べ物にも事欠く人たちがたくさんいます。そうした人たちが少しでも役立ててもらえれば嬉しいですね。

と、ここで左の写真は世界に大きな影響を与えた優れた報道写真に贈られる、ピュリッツァー賞を受賞したもので、アフリカの飢饉について、伝えるもので、食糧配給所に向かう途中で座り込んだ子ども、背後からその子を狙っている鷹が写っています。



世界に衝撃を与え、アフリカへの援助活動の大きな引き金になりました。その結果、多くの募金や食糧などがアフリカに届けられたのです。私もこの写真を使った社会科の授業をした記憶があります。

しかし、この写真を撮ったカメラマンは、称賛される一方で、「写真にも撮る暇があったら、なぜこの子どもに食べ物あげなかつたんだ」と非難もされました。

もしあなたがカメラマンなら、写真を持ってきますか? この子に食べ物を持ちたいですか? ・・・一概に何が正義なのか、簡単に言い切れるものはありません。

UNICEF(ユニセフ)国連児童基金)は恵まれない子どもたちのために、世界中で募金活動をしています。私も何年前か前に一口寄付をしました。すると、お礼状と共に、手紙などの封印に使う、左のようなシールが20枚セットで送られてきました。おそろく、これを使うことによって多くの人にユニセフの募金について知ってもらおうというものでしょう。

しかし私は複雑な気持ちでした。こんなシールがほしくて寄付したので、名前入りシールを作ったお金を送るのにかかったお金を困っている子どもたちのために使ってしまうからです。

次の年は振込用紙に「寄付しますがシールは要りません」と書きましたが、やはり送られてきました。私はしばらく「今年久しぶりに寄付をしましたが、やはりシールが届きました。あなたはどう思いますか。募金のことを多くの人に知って貰うためにシールは必要か、その分のお金を恵まれない子どもたちのために使うべきか。正義とは、時と場合により、また考え方が異なるのです。



〒961-0814
白河市三本松山
2-2-2

益子 朗

